

こころ、つなぐ、ならは、明日へ!!

広報

ならは

2019 FEB 第589号

2

●表紙PHOTO:ご成人おめでとう。未来に輝け!





民生委員として地元の上繁岡地区を担当しています。友愛訪問をして皆さんとお話ししたり、何か困りごとがあれば、地域包括ケアセンターや行政につながる役割です。人と関わることをしたいと思い、「自分にできることはやってみよう」という気持ちでした。悔いのない人生を生きたいから、一日一日、精いっぱい生きていきたいと思うんです。それに、人間は一人では生きられないので、こうしていろいろな人に出会えることは、とても幸せなことだと思います。

民生委員 古田 美智子さん

人が好きなんです。おばあちゃん子だったから、お年寄りには特に好きです。高齢の方は、私たちが知らないことをよく知っていて、お話しするととても勉強になります。

上繁岡はまとまりが良くて団結力があって、これはもう私の自慢！月に1回の地域ミニデイをみんな楽しみにしてくれていて、こんなうれしいことはありません。みんなの顔を思い浮かべながら「来月のミニデイ、何をしようかな？」なんて考えることは楽しいし、皆さんが喜んでくれることによって、私のほうがもっと大きな喜びをもらっているんです。

人の為ならず。

人とつながって何かの役割をもつことは、幸福感をもたらします。生きがいをもって暮らすことのできるまちづくりにもつながります。一人一人がだれかとつながって支え合うことが、これからの「まちづくり」です。

「ボーっとしているんだつたら、ボランティアをすれば？」
もともとのきっかけは、介護ヘルパーをしている妻にこう言われたことでした。その時、「そんなものか」と素直に思った私は、さっそく社会福祉協議会に問い合わせ、配食ボランティアとなったのです。「ボランティア」といっても1か月に1回なので、負担感がありません。

配食ボランティアとは、水曜日に一人暮らしの高齢者のお宅など約20軒にお弁当を届けることです。お弁当は無料ではなく一食300円ですが、おかずの種類が多くて好評です。
映画を鑑賞したり熱帯魚を眺めたり、もともと私は一人で過ごすことを好む性質なのですが、配食ボランティアは私にとつて人と会うチャンスであり、配食を始めてから、私は自分が相手のことを気にかけるようになったと感じています。少し痩せたような気がすれば心配になったり、元気そうだと安心したり。
ボランティアをしているいろいろな人に出会う。それは私にプラスの効果を与えてくれました。

配食ボランティア

星和義さん



婦人会

早川 シンさん

婦人会は、女性の視点で「町や地域がこうなったらいいなあ」ということを計画して活動したり、ほかの団体さんなどからの協力依頼でイベントなどのお手伝いをしたりしています。

たとえば、東邦銀行さんの前にある花だんの植栽と水やりは、婦人会のライフワークとなりつつあります。花は癒しでしょうか？あそこは多くの方の目に映る場所ですし、あの場所にお花を瑞々しく咲かせていたいと思うんです。

東邦銀行さんがいつも惜しげなく水を提供してくださっています。こうした地域への協力をいただくとうれしくなって、作業にも苦を感じません。

また、婦人会の活動をしていると、小中学校の生徒さんと接する機会もあるのですが、そのかわいらしいことと言ったら！婦人会に入っていないければ生徒さんたちとふれあうこともなかったでしょうし、活動を通して頭とからだを使うので、心身ともに自分が向上できていると感じています。

人のためじゃないんですね、自分たちが明るい気分になんかしてもらって、いいこと尽くめなのかもしれない(笑)。

「お互い様」がまちづくりのカギに

はじまる 地域包括ケアシステム

地域包括ケアシステムとは、たとえ介護が必要な状態となっても、人生の最期まで住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができるしくみのことです。

地域包括ケアシステムは、下図のように「自助・互助・共助・公助」から成り立つとされますが、今月号では特に「互助」の部分に焦点をあてました。地域包括ケアシステムの構築においては、**いかに人と人とが繋がって支え合えるか**が大切です。一人一人がまず身近な人に関心をもって、「お互い様」の関係をつくる(共助)ことがこのシステム構築成功のカギになるのです。

相手を気にかけて、何かの力になれることは、相手の役に立つばかりではなく、自分自身の幸福につながります。町民みんなが生きがいを感じて幸福になれるまちに住みませんか。私たち自身が人とまじわり、つながって、支え合うことが、今後のまちづくりを支えます。

檜葉町は町民みんなが幸せになれる社会をめざしています。



みんなでこれからの地域づくりを考えたシンポジウム(1月27日)

「自助・互助・共助・公助」からみた地域包括ケアシステム



(厚生労働省ホームページより)

子どもたちのための『学びのボランティア』募集

『学びのボランティア』とは、趣味や特技を生かして子どもたちの学びを助けてくださる方です。学校と地域が連携していっしょに子どもたちを守り、育てていきましょう。

「〇〇が得意」「△△を子どもたちに教えたい」という方を募集しますので、ぜひご連絡ください。『学びのボランティア』について詳しいことは同封のチラシをご覧ください。教育総務課にお問い合わせください。

お問い合わせ先:教育総務課 ☎0240-25-4701



いっしょに勉強してください!

婦人消防隊

猪狩典子さん

初めて婦人消防隊の法被に袖を通したとき、息子たちに大笑いされました。私も恥ずかしくて恥ずかしくて(笑)。ですが不思議なもので、今ではとても責任のあるものだと感じるようになっていきます。

法被をあずかつてからは、火の元に対する意識が変わりました。「絶対にわが家から火災を出さない」という思いを常に身につけるようになりました。

婦人消防隊は火災が起こっても、火を消すことはしません。私たちの役割は、「わが家から決して火を出さないこと」、



出初式に参加した婦人消防隊の皆さん

そして「何かあった時に相互扶助を行うこと」とされています。昔は、基本的にはどの家でも、婦人消防隊に入っていたと聞きます。一家の台所を仕切る女性が婦人消防隊員だったというのは、理にかなっていたわけですね。同じ組織に所属して顔見知りとなり、女性同士がお互いに助け合う基盤となっていたのかもしれない。

今後、婦人消防隊として予防消防に努め、何か起こった時にすぐ助け合えるようなネットワークづくりをしていきたいと思っています。

社会福祉協議会

井出優斗さん

「ボランティア」というと堅苦しくて、特別の人だけがするよなイメージがあるかもしれませんが、私たちの日常はたくさんのお互い様で成り立っています。近所の様子を気にかけたり、困っていれば助け合ったり。それはもう、立派なボランティアです。

ボランティア活動は幅が広く、献血もボランティアですし、だれかのお話を聴くことも「傾聴ボランティア」と呼ばれ、大切な役割を果たしています。無償

とは限らず、少額の報酬を伴う有償のボランティアもあります。

有償、無償に関わらず、「だれかの役に立てた」という感覚は、人に自分の存在意義を感じさせ、その時に得られる喜びは特別なものです。ですから、だれかの役に立つことは、人のためではなく、実は自分自身を幸せにしてくれるのです。

そんな幸せを味わうことができるボランティアをしてみませんか。ボランティア養成講座を受講して研修を受けることもできますので、興味のある方はご連絡ください。

【0240-25-4157】



平成31年檜葉町成人式

輝く未来へ。

1月13日、平成31年檜葉町成人式が町コミュニティセンターで開催され、ご家族や恩師の先生方などが晴れの門出を祝しました。
真新しいスーツや艶やかな振り袖に身を包んだ46人の新成人。会場
のそこかしこで、久々の再会に喜び合い、歓声が上がっていました。

震災が起こった時、彼らは小学校6年生でした。卒業式を迎えることができないまま、それぞれの避難先で中学生となった皆さんですが、今年も檜葉町の成人式に多くの新成人が参加してくれました。

今年、会場に一番乗りしたのは、現在、八王子で学生生活を過ごしているという真下稔央さん（大谷）でした。お父さんが運転する車で午前4時に出発して檜葉町の成人式に駆けつけ、翌日は中学時代を過ごした横須賀市の成人式にも参加したそうです。また、式典でピアノ伴奏を行った高木柚里さん（上井出）は、8月に行われた会津美里町の成人式に参加し、避難中の感謝を伝え、うれしい再会を果たしていました。

厳粛ななかにも朗らかな雰囲気にも包まれた式典では、矢内葵さん（前原）と長谷川優衣さん（山田岡）が新成人を代表し、町長から成人証書を授与されました。また、震災当時、南小学校の児童会長を務めていた青田理咲さん（下小埜）が謝辞を述べ、「これまで支えてくれたすべての方に感謝します。檜葉町はかけがえのないふるさと。私たちが明日に向かって懸命に生きること、夢を諦めずに追いかけることが檜葉町の復興発展につながる」と信じ、日々邁進します」と力強く誓いました。

成人式幹事の一人、飯高葵さん（上井出）は「こんなにみんな集まってくれて、すごくうれしい。みんな檜葉が好きなんだと改めて感じました」と話してくれました。「同窓会」と称した二次会にもほぼ全員が参加し、お互いの近況や思い出話を花を咲かせたそうです。

力強くおとなへの道を歩み出した新成人の皆さん、おめでとうございました。皆さんの前途がますます輝くことを祈ります。



これまでの感謝とこれからの決意を述べた青田さん



成人証書を受け取る矢内さん（右）と長谷川さん



式典後の懇親会では恩師の先生方となつかしく談笑



そして、日本一のサケの川へ(2)



鈴木謙太郎さん(木戸川漁協)

東日本大震災の被害により、木戸川漁協の歴史上、おそろく過去最悪の状態に陥り、サケのふ化事業どころか漁協自体が存続の危機に追い込まれました。しかし、そんな先の見えない暗闇のような状況の中にあっても、そこに希望の光を差し込んでくれたのはやはり、木戸川のサケたちが元々持っている生命力だったのです。

サケがくれた勇気

8月号でも触れられていますが、震災から7か月後、だれも住んでいないこの町で、僕は木戸川を力強く無心に遡上してくる川一面のサケを見たのです。彼らは、自らの力で自然産卵し命を繋げていたのです。木戸川のサケたちの本能的な生命力があったからこそ、数は少ないながらも現

在もサケが木戸川に帰ってくるのです。

当時、漁協の施設は津波によって壊滅的な状況にあり、その頃、僕は途方に暮れていたのです。漁協の再興やサケ事業の復活はあまりにも困難と思われ、絶望さえ感じていたというのが正直な気持ちでした。しかし、あの光景を目の当たりにし、サケたちのたくましい姿に僕は勇気づけ

られ、それまでモヤモヤしていた気持ちもこの瞬間に決心がつき、「絶対に復興させてやる!」と心の中で叫んだのです。

ふ化場の完成

そうは言っても現実は一瞬もなく、平成24年までは例年並みに帰ってきていたサケたちも、平成25年からは毎年激減していきました。

「とにかく1年でも早くふ化事業を再開しないと今までの先人先輩たちの努力が水の泡になり、ますます復興も遅れてしまう。」そんな焦りはありませんが、各関係機関にご協力とご指導をいただき、最新設備が整っているサケふ化場など各地へ研修に赴き、同時に木戸川の先人先輩の知恵や技術も受け継ぎながら復興に向かつて走り続けました。この過程にも一言では言えない苦難がありました。平成27年の秋、なんとか新第1ふ化場の一部が竣工、そして翌年6月に完全な竣工までこぎつけました。木戸川漁協

新施設の自慢

が長年抱えていた数々の問題点を改善し、今までの良いところは残した施設となり、新しく生まれ変わるこ

とができたのです。

新施設の一端を紹介しましょう。まずは魚の命といえる水ですが、以前のふ化場では、簡単に説明すると、木戸川の川底に大きな管が入っていて、その管の周りに小砂利が敷いてあり、ろ過して浸透したきれいな水を取水していました。しかし、堆積した泥などで度々目詰まりをおこし、うまく取水ができ

ず、不足している水の分を再利用しながら飼育していたため、エラ病などの病気の原因



飼育池の「自動掃除機」

にもなっていました。今回はその管の内側にエアーマンを取り付け、目詰まりしたらエアーマンを逆噴射させ目詰まりを解消できる機械を設置しました。さらに、その取水した水を網目状になっている「曝気槽」に水を落とし通すことによって多くの酸素を水の中に溶け込ませることができるようになり、魚にとつてより良い環境が整いました。ちなみに、この2つの設備は、現在のところ日本一の大きさです。

また、飼育池には「自動掃除機」を各池に取り付けており、底に溜まった糞や残

餌をブラシのついた機械で掃除することができてしまいま

す。以前は、掃除機のような吸引機を4人がかりで使用していたので、大変時間がかかって苦労していましたが、自動掃除機は短時間で簡単に掃除できるのです。この自動掃除機の導入は県内のふ化場では初となりました。これでまた「木戸川の自慢」が増えましたね(笑)。ほかに

も自慢したいところがまだまだありますが、このぐらいにしておきましょう(笑)。

不謹慎だと思わないでいただきたいのですが、「ピンチはチャンス!」なのかもしれないと考えるようにしています。この素晴らしい施設で、以前にも増して木戸川の隆盛を取り戻すのだと心に決めています。

空白の4年、その影響

空白の4年間の影響はあまりにも大きいです。震災

前は平均約7万尾の採捕尾数を誇っていましたが、再開できた平成27年秋の採捕尾数は8、443尾、平成28年は7、329尾、平成29年は3、414尾、そして昨年は6、147尾と、これほどまでに激減してしまいました。

毎年何千万尾もの稚魚を放流していた河川で4年もの間、ふ化事業がストップしたことは過去に例がありません。全国の専門機関からも注目されましたが、これだけ激減してしまった結果となり、やはり現代においては人工ふ化事業がどれほど重要であるかを再確認せざるを得ない結果となりました。

同時に、この河川環境の中、自然産卵だけでも何千尾ものサケが回帰してくる木戸川はまだまだ豊かな川だと改めて実感し、「人間と自然とのバランス」の大切さを震災から学ばせてもらった気がします。

(次回に続く)



の

笑店街に ポスト！

「ポストが少なくて困る」町政懇談会などにおいて増設のご要望のあった郵便ポストが、12月の末、ここなら笑店街に新設されました。現在、町内で稼働しているポストは5か所となり、町はこのほか3か所の増設をいっき郵便局にお願いしています。

稼働中	檜葉郵便局前	要望中	ファミリーマート上繁岡店前
	竜田駅		セブンイレブン下小嶋店前
	木戸駅		南地区リサイクルハウス前
	ここなら笑店街 ローソン大谷店内		



Mare di Caffè前にポスト登場

来年こそ！

1月26日に予定されていたJヴィレッジ再開記念ハーフマラソンが、雪のため中止となりました。2000人以上のランナーが檜葉町と広野町を疾走する予定でしたが、思いがけない天候の変化で、早朝には雪景色！やむなく中止となりました。大会出場に向けトレーニングを積んできた選手の皆さん、実力を試せず残念な結果になりましたが、来年もまたエントリーをお願いします！

小学生が「団子さし」を体験

1月9日、檜葉南、北小学校の生徒たちが地域の方といっしょに季節の行事を体験しました。

「団子さし」は、団子で飾りつけた枝を稲穂に見立てて大黒柱や神棚に飾り、秋の豊作を願う慣わしで、1月15日頃に行われる小正月行事のひとつです。

ミズキの枝に、団子とともに飾りつけた「さがりもの」は、恵比寿様や大黒様、千両箱に鯛などの縁起物をモナカの皮でかたどったもので、昔ながらの製法で作られているものです。今回の体験にご協力いただいた「和布細工工房ほのぼの」の皆さんが作った和布細工もいっしょに飾りつけました。

児童たちは手順を教えられながら、米粉をこねて団子をつくり、枝に飾りつける作業を楽しく初体験。「ほのぼの」の皆さんも本格的な団子さしは久しぶりのことで、かつては町のあちこちで行われた新年のにぎわいが久しぶりに現代によみがえりました。



平成31年出初式

1月20日、檜葉まなび館で平成31年檜葉町消防団出初式が開催されました。式典前には、木戸八幡神社で無火災祈願をし、震災後初となる消防団パレードを実施しました。

この日、パレードの先頭を切った消防団旗は、消防団活動のさらなる進展へ願いを込め、このたび新調されたものです。消防団、婦人消防隊の皆さん、今年も町の安全・安心をよろしく願います。

乾燥する日が続きます。火の始末には十分注意しましょう。



震災後初めての消防団パレード

町長出前講座

中満南団地に入居する方から申込みがあり、1月8日、町長出前講座を開催しました。集会所の管理や町営住宅の家賃など、災害公営住宅ならではの質問にはじまり、町政全般について幅広い意見交換が行われました。参加した方は「町長に直接、考えを聞くことができてとても有意義だった」と話していました。

町長出前講座についてのお問い合わせは政策広報室【0240-23-6150】へどうぞ。

なお、災害公営住宅を含む町営住宅の家賃は、今年度まで免除されていますが、来年度以降、段階的に免除措置が終了することが決まっています。



キャンドルの灯 あたたかく

1月11日、こども園に『ラブフォーニッポン』の皆さんが来園し、子どもたちとワークショップやダンスをして楽しい時間を過ごしました。

代表を務めるキャンドルジュンさんは、東日本大震災後、檜葉町の仮設住宅などを何度も訪れており、すでに住民の皆さんと深い絆で結ばれています。

午後からは交流館に会場を移し、揺れるキャンドルの灯りのなか、音楽ライブなどが行われました。

震災当時と変わらぬあたたかい寄り添いに、心から感謝します。



3地区で 鳥小屋を再開

今年は北田、大谷、下繁岡の各行政区で、8年ぶりに鳥小屋が復活しました。

北田と下繁岡では、震災前と同様に、お正月を送る1月8日の夜に、大谷では、多くの方が集まれるようにと1月12日の日中に行われました。

年末に地区の皆さんが力を合わせて製作した鳥小屋は、あつという間に燃えてしまいましたが、燃え上がる火を眺めながら、いずれの地区でも、地域行事を久しぶりに復活できた喜びの言葉が交わされ、本来の生活を取り戻されつつあることを実感していました。



優勝カップ 寄贈

パークゴルフ愛好家の猪狩清さん（大谷）から、町に優勝カップが寄贈されました。

これらの優勝カップは、今年6月と9月に、それぞれ開催を予定しているパークゴルフ大会、「町長杯」「議長杯」（いずれも仮称）の表彰につかわせていただきます。

健康増進のため、パークゴルフを始めませんか？



ならはスカイアリーナ 4月13日(土)OPEN!

予定

ならはスカイアリーナは、温水プールやランニングコースも併設された総合型の体育施設です。
多くの方にご利用いただけるよう授乳室や遊具施設も整備されます。
会員種別や料金などはいよいよ来月号でお伝えします!

Arena



アリーナ (30m×43m×高さ12.5m)
400席以上の観覧席を備え、
各種大会にも対応

Pool



プール (25m×6コース、水深1.2m)
幼児用プールも併設

Fitness gym



フィットネスジム
ランニング等の有酸素系トレーニング
マシンのほか、筋力アップのマシンも充実



NARAHA TOPICS ならはの話題

「新生ならは」誓って新春交歓会

昨年、一部再開を果たしたJヴィレッジを会場に1月20日、新春交歓会を開催しました。新春交歓会は、毎年、町と商工会が共催し、町内の各種団体や、町が日頃からお世話になっている方などを招待し、ともに新年を祝う集いです。今年も約200人が参加され、今後のさらなる復興に向けての前進を誓いました。天神太鼓「うしお会」の皆

さんが勇壮な演奏でオープニングを飾り、吉野正芳復興大臣、吉田栄光県議会議長、橋本徹県議会議員から祝辞をいただきました。今年、ならはスカイアリーナの営業や道の駅の温泉施設の再開など、大きな事業が続々と控えています。「新生ならは」のますますの輝きに向けて、大きく前進することを誓い合いました。



4回目のシンポジウム

ずっと幸せに暮らし続けられる地域づくりについて考えるシンポジウム「ならコレ(ならはコミュニティコレクション)」を、今年も開催しました。2025年には団塊の世代が75歳以上となり、日本では介護・医療・福祉のサービスが不足することが予想されています。このため、国は、高齢者が住み慣れた地域で最後まで生活できるような仕組みづくり(地域包括ケアシステム)を各自自治体に呼びかけているのです。

榎葉町では、「まじわる・つながる・支えあう」をテーマとして、以前からこのシステムの構築準備を進めており、その一環であるシンポジウムは住民の皆さんといっしょに考えるために開催しています。参加された方からは「日常の中の『つながり』が大切なのだと改めて考えました」というご意見がありました。これからの榎葉についてみんなで考え、また一歩、地域づくりが前進しました。



ここなら商店街が...

平成26年7月にオープンし、避難指示が解除される前から、町内で生活する人々の暮らしを支えていた「ここなら商店街」が1月中旬取り壊されました。ブイチェーン、武ちゃん食堂、おらほ亭の3店舗は今、新たな場所で営業していますが、ほぼ唯一の買い物環境だったあの頃の店舗がなくなってしまう思いが切にしまつて、これから復興に向けて進んでいきたいと思います。

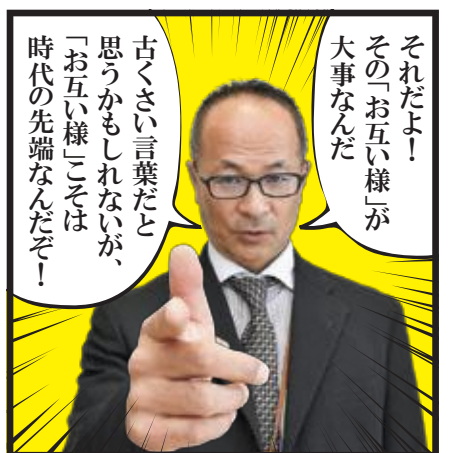


お疲れ様、ありがとう。

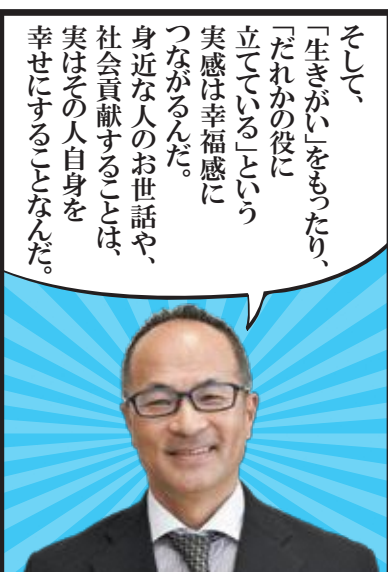
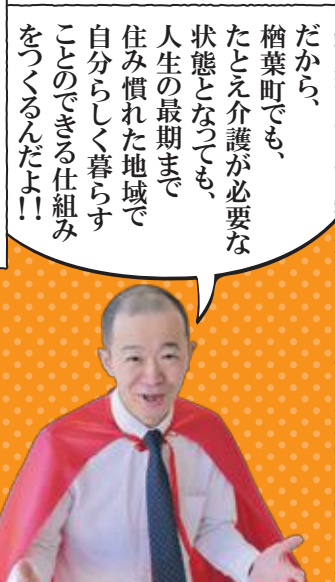
「お互い様」は福を呼ぶ!

からも、ならは。ずーと、ならは、
つになっても生き生きとくらしたい!

介護保険係の運営です。
1月27日、私たちが幸せに
暮らし続けることのできる
まちについて考えるため、
今年で4回目となる
シンポジウムを開催しました。
さて、みんなが
幸せになるためには…?



去年の3月号で
介護マンが...





「趣味」は人生において、生活の質を高めたり、心を休ませたりするのに欠かせないと聞きますが、私には趣味と言えるものがありません。どうしたら自分に合った趣味を見つけることができるのでしょうか？

瀬谷介護保険係長

「マニア」や「オタク」という言葉には、マイナスのイメージを抱く人もいるかもしれませんが、意味を調べてみると「マニア」とは、ある特定の分野を得意としていて、それに没頭する生活習慣を持つ人のこと。歴史マニア、鉄道マニア、ゲームマニア、日本には数え切れないほどのマニアが存在します。

ちなみに、私の友人にジャニーズ(アイドル)という特定分野に没頭している人がいます。チケットが取れば国内どこへでもコンサートに飛び、その情報収集にも余念がありません。けれども、彼女はそのためだけに費やすお金や時間を惜しまないのです。彼女の没頭ぶりをみてつくづく感じるのは、「なんと幸せそうなこと！」

瀬谷係長のように「無趣味」と悩む人は少なくありません。日常生活の忙しさから「趣味の時間をつくれな」と思っている人もいます。仕事・勉強・家事・育児など、

毎日やらなければならないことに追われているので、「時間があつたら何もしないで過ごしたい」とも思いますよね。

しかし、何もしないで過ごした場合、一見、体力や気力の回復ができたようで、実は頭や心のリフレッシュにはなっておらず、忙しい時の気分を引きずってしまっていることもあります。そんな時はむしろ、体を使ったり頭を使ったりして気分転換することをお勧めします。

没頭できるもの＝趣味

また、「没頭できる趣味が見つからない」と悩んでいる人の中には、始めてしまえば案外継続できるかもしれないのに、自分自身がブレーキをかけてしまっていることが多いです。趣味は、時間や手間、お金がかかるものですが、さらに言えば、その没頭できる時間や手間、出費を楽しむことなのです。趣味は頑張る

て見つけるものではなく、自分が没頭しているものが何かを確認することかもしれません。

マニア生活にはメリットがいろいろあります。ストレスが発散されたり、没頭している間は嫌なことを忘れていたり、同じ趣味の仲間が作れたり……。たとえ一時的でも嫌なことを忘れることができれば心に余裕ができますし、好きなことに没頭している時、人は幸福感を得ることができるのですから！

自分にブレーキをかけず、一歩踏み出してみてもいい？ 皆さんは何マニアですか？



◀ 地域包括支援センター職員 江尻さん

足もとに未来をみつめて

第9回

榎葉っ子のいまむかしー子どもと遊びー

榎葉町歴史資料館

先月号の本シリーズを読んだ方から、「とてもなつかしい」「なんだかほっとする」といった感想を寄せていただきました。多くの方がある種の憧憬をもって70年代を振り返っているのだと、改めて感じました。

どの時代に「郷愁」を感じるのかは人それぞれですが、その時代に、その人が子どもだったか大人だったのかでも、なつかしさの度合いは異なるでしょう。今月は、子どもの視線から昔と今の榎葉町を比較してみます。



子どもの遊び今昔



民俗調査報告書「榎葉町の民俗暮らしの足あと」には、町の戦前から昭和40年代頃までの子どもの遊びが、聞き書きの形式で掲載されています。「馬乗り」「縄跳び」「魚とり」などが代表的なものですが、榎葉らしい遊びとして「木戸川のいわんぱ」での水遊び」があり、場所の取り合いをしたエピソードは多くの世代に共有されています。家の中の遊びは、「ザックとり」「あやとり」

などでした。昭和50年代から60年代も、野球、サッカー、キックベース、「ろくもす」というゴムボールを使った遊びが流行り、元気に遊んでいました。

しかし、やがて「いわんぱ」は遊泳禁止区域となり、テレビやゲームの普及に伴い、家の中の遊びが主流になります。同時に、子どもの遊びには「自由」がなくなり、画一化されたおもちゃで遊ぶことが圧倒的に増えていったのです。

遊びと手伝い

そもそも昭和30年代頃までは、子どもも家族の一人前の働き手とみなされており、学校から帰った子どもの多くはすすんで手伝いをしました。町には葉タバコ農家も多かったで、「葉のし」などの手伝いをした思い出のある方もいらっしゃるでしょう。昔は、家の手伝いをしながら遊んだり、手伝

社会の一員としての子ども



いをしながら「スカンボ」や「イチゴ」を食べたりして、こうしたことも子どもにとって大切な遊びのひとつだったのです。

今と昔をくらべると、昔の子どもは勝手に遊べないものの、道具を自作し、仕事も遊びにかえて楽しむたくましさがありました。一方で、現代の子どもは、自由な時間が多くなった反面、勉強の時間も増え、ちょっと大人しくなった印象があります。



けれども、昔も今も変わらないことがあります。それは、子どもも、社会の一員として立派に役割を担っていることです。今の子どもたちは農作業を手伝うことは少ないとしても、多くの子どもたちが復興に携わっています。榎葉町の小中学生が運動会で地域を盛り上げたり、キャリア教育として町をPRしたりする様子は、ニュースでも大きく取り上げられています。元気に登校し頑張る姿を発信することが、今の子どもたちの、復興に向けた大切な仕事になっています。



花き

タマネギ

畜産

サツマイモ

水稲

平成30年度 営農再開状況

平成27年9月の避難指示解除後、檜葉町の農業は、基幹作物である水稲を中心に営農再開が進んできましたが、震災を境に、町の農業は大きく転換しています。新規作物としてサツマイモ、タマネギ、花き等の栽培が進められており、その営農面積は年々拡大しています。

水稲

- 作付農家数／30戸（作付面積／約58ha）
 - 平成30年度全量全袋検査実績／検査点数4,304点
 - 全量測定下限値（25Bq/Kg）未満
- 「広野・檜葉の恵み安全対策協議会」が町内で収穫された米の全量全袋検査を実施し、安心安全でおいしい米が出荷されています。



平成31年度はカントリーエレベーター及び育苗センターの稼働に伴い大幅に営農再開面積が増える予定です。しかし、町内に農地を所有する方を対象とした意向調査によると、「今後も営農せず、農地を他の人に託したい」と回答した方が全体の6割を超えています。このように、営農を再開する農家が減少することにより、大規模に営農する意欲のある農業者に農地を集約するスタイルが基本となっていく予定です。

サツマイモ

- 作付農家数／2戸（作付面積／約13ha）
- サツマイモは収益性の高い作物として町が推奨しており、平成29年度に実証栽培を実施し、平成30年度から本格栽培が始まりました。平成31年度は作付面積を30haまで拡大し、再来年度には50haの作付を目指しています。また、生産されたサツマイモを使った六次化商品開発も積極的に進め、一大産地化に向けた事業を展開しています。

タマネギ

- 作付農家数／4戸（作付面積／約1.8ha）
- 県の推奨作物で水稲栽培の裏作として水田や畑を活用しながら作付が進められています。また、タマネギは水稲の耕作時期と重ならず、機械化に適しており、チャレンジしやすい作物です。

花き

- 作付農家数／4戸（作付面積／約40a）
- 震災後、新たな施設園芸作物として花き（主にトルコギキョウ）栽培が進められています。風評の影響が少ないことも魅力です。

畜産

- 酪農牛／1戸（飼育頭数／85頭）
 - 繁殖牛／3戸（飼育頭数／92頭）
- 震災以降、牛の価格が上昇しており高値で取引されています。また、最先端技術を導入しながら省力化を図るなど効率的な経営を目指しています。

営農再開に向けた町の取組

町の補助事業等を利用して、営農を再開したり、その準備を進めたりしている方が続々と増えています。補助事業等については産業振興課にご相談ください。

【産業振興課 0240-23-6104】

● 檜葉町帰還農業者支援事業

- 【平成30年度申請件数／79件】
- 平成29年度から始まった町独自の補助事業です。町内で再び営農を始めるため必要な、小型の農業用機械や小規模な農業用ハウスの導入費用を助成する事業です。



● 檜葉町鳥獣被害防止電気柵購入事業

- 【平成30年度申請件数／16件】
- 平成29年度から始まった町独自の補助事業です。鳥獣による農作物被害を防止するために、電気柵を購入し設置した農業者に対し、予算の範囲内において電気柵の購入費用の一部を補助する事業です。

● ならSUNマルシェ

- 【開催数／14回】
- 平成29年8月から町内産野菜の直売を実施し、町内農産物の安心安全のPRを行い、自家消費野菜の栽培から本格営農へとつなげることを目的に開催しました。



2/10日

『お笑いライブならは』

絶賛
発売中!

人気芸人のU字工事さんや小島よしおさん、カミナリさんなど
6組のお笑い芸人が桧葉町にやってきます。

【日時】2月10日(日曜日) 開場13:30 開演14:00

【会場】桧葉町コミュニティセンター 大ホール

【出演者】U字工事、小島よしお、カミナリ、アルコ&ピース、
ゴー☆ジャス、東京ホテイソン

【入場料】2,000円(全席指定)※当日券は2,500円

【チケット販売】●桧葉町コミュニティセンター ※平日9:00~17:00

●チケットぴあ/Pコード:490981

(セブンイレブン端末機から)

●ローソンチケット/Lコード:21737

【その他】駐車場には限りがありますので、乗り合わせ等のご協力をお願いします。

【お問い合わせ先】●桧葉町コミュニティセンター ☎0240-25-4701

●桧葉町教育総務課 ☎0240-23-6190

●ラジオ福島営業企画部 ☎024-531-4320(平日9:15~18:15)



英国の女性旅行家で紀行作家のイザベラ・バードは、明治11年(1878)に日本を旅し、『日本奥地紀行』を著しました。バードが横浜の港に降り立ったのは、西南戦争の翌年、東京の紀尾井坂で大久保利通が暗殺されて、わずか一週間後のことでした。旅の目的は、まだ世界に知られていない日本の奥地の現状を記録し、紹介すること。バードは、英国全権公使ハリ・パークスらの保護を受け、東京から日光・会津・新潟を経て、東北・北海道への外国人未踏ルートをつかまけて踏破しました。

本書は、元『旅と鉄道』統括編集長で、鉄道関連の著書も多い著者が、『日本奥地紀行』を旅する紀行文。バードが歩いた日光街道や羽州街道の旧街道沿いには、その後、鉄道が敷かれたことから、鉄道を利用して、その足跡を辿ります。途中下車しながら、彼女が泊まった宿や温泉を訪ねて、ついでに郷土料理や地酒なども満喫しています!会津では、大内宿や会津坂下にも立ち寄っています。バードが投宿した大内宿の阿部家(美濃屋)には、当時、外国人珍しさに様子をのぞいてきた村人が、赤ワインを飲んでいてバードを見て、血を飲んでいと勘違いし騒ぎになった、なんていう話も残っているのだとか。

『新にっぽん奥地紀行』



芦原伸/著(天夢人)

図書館司書の坂本さん

お問い合わせ先
桧葉町図書室(桧葉町「コミュニティセンター」内)
☎0240-25-4730(月曜・祝日休館)

- 【桧葉町図書室からのご案内】
土偶女子などの言葉や縄文フームの火付け役のひとつ、フリーペーパー『縄文ZINE』を図書室に配置しました。相双地域では、いまのところ桧葉町図書室だけ!縄文時代に面白おかしく気軽に触れることのできる読み物です。数に限りがありますので、ご希望の方は早めにお越しください。
- 【新着図書】
(一般書)
●『浄瑠璃坂の仇討ち』 坂本俊夫/著(現代書館)
●『365日の(し)つが(な)わ120%活用術』 主婦の友インフォス/編 主婦の友インフォス
●『自分で直せば断然お得! 身のまわりの修理の教科書』 西沢正和/監修 PHP 研究所
●『浸して漬けて「作り置き」』 今泉久美/著(文化出版局)
●『文豪たちの友情』 石井千湖/著(リットーミュージック)
(児童書)
●『東大教授が教えるやばい日本史』 本郷和人/監修(ダイヤモンド社)
●『実物大!世界のどうぶつ絵本』 ソフィー・ヘン/著 あすなろ書房
●『としよかんライオン』 ミニエル・ネードセン/作 ケビン・ホークス/絵(岩崎書店) ほか多数

まだまだ寒い日が続いていますが、日も長くなり、
少しずつ春の気配が感じられるようになってきました。
ならはスポーツクラブは、室内の教室はもちろん、
春先取りのフラワーアレンジメント、ウォーキングと
元気に活動中です。

ならは スポーツクラブ



新春ノルディック
(1月7日 天神岬)



神域に足を踏み入れる参加者
(12月1日 日立市御岩山)



パワースポット御岩山へ
(12月1日 日立市)



作品を前に笑顔も咲きました!
(フラワーアレンジメント教室)

総会のお知らせ

平成30年度の総会を、下記の日程で開催します。
長い時間ではありませんので、会員の皆さんの出席
をお待ちしています。

- 日時/平成31年3月23日(土) 午後1時30分~
- 場所/桧葉まなび館 ランチルーム

ウォーキング教室 「滝富士」(いおき)

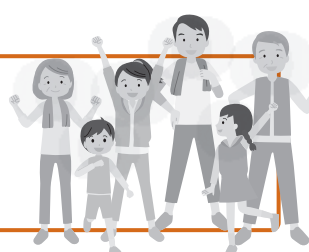


2月28日(木)開催予定のウォーキング教室、申込を
忘れていらっしゃるいませんか?まだ、間に合
います。

春の息吹きを感じながら、早春のウォーキングを楽
しみませんか?

新年度 会員募集に ついて

スポーツクラブでは、3月25日(月)より新年度の会員募集を開始します。
各教室・イベントは、今年度同様の内容で実施予定です。
なお、会費など詳細につきましては、広報3月号でお知らせします。



【お問い合わせ・お申込み先】ならはスポーツクラブ(桧葉まなび館内) ☎0240-26-0076

町で実施した自家消費食品等の放射能簡易検査結果

12月1日から12月31日までに農林水産物処理加工施設で実施した食品等の放射能検査結果の集計となります。

食品分類(基準値)	49検体中、基準値超件数 2		食品名(基準値超件数／検体数)最小値～最大値(Bq/kg)		
山菜(100) (0/2)	ゼンマイ(0/1) 11.08	シイタケ(0/1) 24.59			
野菜(100) (0/13)	ハクサイ(0/5) ND～9.74	キャベツ(0/3) ND	ブロッコリー(0/1) 17.05	ハウレンソウ(0/1) ND	レタス(0/1) 38.81
	ちぢみ雪菜(0/1) 8.30	サツマイモ(0/1) 7.74			
水類(10) (0/4)	簡易水道水(0/4) ND				
その他(100) (2 /30)	干し柿(0/15) ND～70.18	ユズ(0/5) 6.43～25.64	柿(0/2) 3.62～11.10	猪肉(2 /2) 260.34～1,166.38	キウイ(0/3) ND
	夏みかん(0/1) ND	ミカン(0/2) ND			

※区分は県の区分に従いました。**色字**は検査した食品のうち**国の基準を超えた検体数**です。
※国の基準(平成24年4月1日施行)は、一般食品で1キロ当たり100ベクレル、飲料水で10ベクレル、牛乳や乳児用食品は、50ベクレルです。
※依頼された検査品の最小値と最大値を記載しています。
※「ND」は「Not Detected」の略です。「不検出」の意味で、検出限界以下であることを示す場合に用います。
※従来の詳細な測定値の表は、ホームページで随時公開していきます。

■お問い合わせ先：産業振興課 ☎0240-23-6104 自家消費食品等簡易測定所 ☎0240-23-6557

檜葉町公共施設等モニタリング調査実施結果(1月実施分)

- 1** 調査期間 平成31年1月7日(月)
2 測定器 NaIシンチレーションサーベイメータ(空間放射線量率測定用サーベイメータ)を使用
3 測定方法 地表面から高さ1m及び高さ1cmの空間線量率を測定(くらし安全対策課職員が実施)。
測定器を水平に保ち、約30秒ほど経過させて測定値が安定したことを確認し、10秒ごとに測定値を5回読み取り、その平均値を記載する(県指定測定方法に基づき実施)
4 測定結果

測定箇所		測定値(μSv/h)	
		地上1.0m	地上1.0cm
		今月測定値	今月測定値
下井出地区集会所	(駐車場)	0.12	0.13
しおかぜ荘	(玄関前)	0.11	0.11
天神岬スポーツ公園内	(オートキャンプ場)	0.08	0.09
天神岬スポーツ公園内	(芝 生)	0.06	0.06
こども園	(園 門)	0.15	0.14
北田地区集会所	(駐車場)	0.09	0.10
木戸川漁協	(玄関前)	0.09	0.08
前原地区集会所	(駐車場)	0.08	0.10
山田浜地区集会所	(駐車場)	0.09	0.10
山田岡地区集会所	(駐車場)	0.09	0.10
木戸駅	(入口前)	0.08	0.09

※全測定結果は、ホームページから閲覧することが出来ます。
※平成29年5月調査より、測定箇所を概ね北部と南部に分けて2か月に1度の測定に変更いたしました。1月は南部の測定結果を掲載いたします。

■お問い合わせ先：くらし安全対策課 放射線対策係 ☎0240-23-6109

◆蛇口における水道水中の放射性物質モニタリング検査について

双葉地方水道企業団では、安心して水道水をお使いいただくために、ご家庭の蛇口から出る水道水の放射性物質検査を実施しています。検査を希望される方は、検査受託事業者へお申込みください。

申込期間は、**2月28日(木)までです。**

お申込み方法	検査受託事業者：(株)江東微生物研究所環境衛生事業部いわき
	①郵送の場合／〒970-1144 いわき市好間工業団地4-18
	②FAXの場合／FAX番号：0246-36-7142

お申込みには、専用の申込用紙(チラシ)が必要です。ホームページから印刷していただくか、お電話でお問い合わせください。

■お問い合わせ先：双葉地方水道企業団 施設課浄水係 ☎0240-25-5341

◆浄水場見学のご案内

双葉地方水道企業団では、水道水の安全・安心を再確認していただくことを目的に、浄水場の見学を随時受け付けています。

ご家族やお友達同士、学校・企業など、どのようなグループでもOKです！
まずは、お電話でご相談ください。

見学のご相談・お申し込みは
双葉地方水道企業団 総務課総務係
☎0240-25-5315まで

檜葉町内居住者集計表(H30.12.31現在)

【住民基本台帳人口】

世帯数	男	女	人口(外国人含む)
2,947	3,532	3,439	6,971

【町内居住者】

行政区	世帯数	人数	行政区	世帯数	人数
上井出	252	483	上小堀	83	179
下井出	190	248	下小堀	200	479
北 田	319	635	山田岡	247	500
大 谷	75	178	前 原	37	78
松 館	35	79	山田浜	36	85
上繁岡	55	117	楢木下	1	4
旭ヶ丘	0	0	女 平	15	31
繁 岡	87	131	大 坂	8	23
下繁岡	79	147	小 計	627	1,379
波 倉	16	30	合 計	1,832	3,613
営 団	95	183			
乙次郎	2	3	町内居住率	世帯	人
小 計	1,205	2,234		62.16%	51.83%

【町内居住者年代別集計表】

	人数		人数
0～4歳	121	60～64歳	323
5～9歳	62	65～69歳	408
10～14歳	65	70～74歳	273
15～19歳	106	75～79歳	258
20～24歳	144	80～84歳	210
25～29歳	164	85～89歳	157
30～34歳	165	90～94歳	64
35～39歳	152	95～99歳	23
40～44歳	185	100～104歳	4
45～49歳	189	合 計	3,613
50～54歳	222		
55～59歳	318		

檜葉町内居住者について
① 町内居住者数／当月末の町内に居住する者の数。
② 町内居住率 / 当月末の住民基本台帳人口に対する町内居住者数の割合を町内居住率とする。
町内居住率(%) = $\frac{\text{町内居住者数}}{\text{住民基本台帳人口(月末)}}$

檜葉町仮設焼却施設における廃棄物処理状況(環境省からのお知らせ)

1 廃棄物処理状況

(1) 仮設焼却施設処理

総処理量	76,323t
------	---------

※総処理量には、埋却牛442頭を含む。

2 各種モニタリング結果について

(1) 焼却灰

	放射性物質濃度(Bq/kg)	総発生量
主 灰	1,800～71,000※1	約11,324t
飛 灰	6,600～83,000※1	約3,980t

(2) 除染仮置場からの搬出状況

※ 除染仮置場からの可燃性除染廃棄物の搬出は終了致しました。

(2) 放射性物質濃度測定結果

モニタリング項目		測定日	測定結果	単位
排ガス	¹³⁴ Cs	12月16日	ND(0.7)※2	Bq/m ³
	¹³⁷ Cs		ND(0.6)※2	Bq/m ³
地下水(下流)	¹³⁴ Cs	12月20日	ND(1.1)※2	Bq/L
	¹³⁷ Cs		ND(1.1)※2	Bq/L

(3) 空間線量率測定結果

	仮設焼却施設入口	仮設焼却施設管理棟前	仮設灰保管施設東側	単位
施設稼働前(H28.10.1～10.22)	0.130～0.139	0.132～0.153	0.175～0.183	μSv/h
施設稼働後(H30.12.1～12.31)	0.096～0.119	0.127～0.149	0.151～0.167	μSv/h

※1：放射性物質濃度は焼却開始からの累計です。
※2：NDとは検出下限値()内の数値]未満を意味します。

■お問い合わせ先：環境省 福島地方環境事務所 減容化施設整備課 ☎024-563-6954

水道水中における放射性物質のモニタリング結果

■採水場所：小山浄水場

■水 源：木戸川(ダム放流水)

■採水年月日：平成30年12月1日～31日

ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
ND	ND	ND

※いずれの検体も、12月31日時点で放射性物質は不検出です。
※「ND」とは、一定の条件で測定機器が検出できる最小値(1Bq/kg)未満であることを示しています。

《参考》検査日現在の目標値 (単位：Bq/kg)			
	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
食品衛生法の規定に基づく新たな基準による目標値	—	10	

■採水場所：北林配水池

■水 源：寺下・中川原水源池(浅井戸・伏流水)

■採水年月日：平成30年12月1日～31日

ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
ND	ND	ND

測定機関：双葉地方水道企業団
分析装置：ゲルマニウム半導体検出器 / 検査頻度：毎日
測定方法：水道水等の放射能測定マニュアル(厚生労働省)

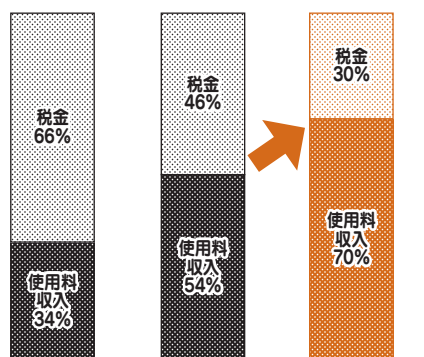
※これまで暫定規制値が設定されていた放射性ヨウ素については、半減期が短く、国に平成23年7月15日以降の検出報告がないことから、規制の対象から除外されました。

【双葉地方水道企業団から凍結防止のお願い】 気温が氷点下を下回ると、水道管や水道メーターが凍結して破損する恐れがあります。水道管は毛布などで包みビニールテープで固定し、メーターボックス内には布切れなどを入れたビニール袋を詰めるなど、早めの凍結防止準備をお願いします。

平成31年度から 下水道使用料が変わります

私たちの日常生活に
必要不可欠な下水道。
下水道は汚水(トイレやお風呂の
水など)を下水として集めて運び、
下水処理場できれいにしてから川や海
に戻しています。この下水道使用料
理費は、利用者からの下水道使用料
で賄われており、この度改定され
ることになりました。

使用料収入で賄えている割合



※税金は一般会計繰入金の場合

※平成31~35年度は「福島県まち・ひと・しごと創生総合戦略人口ビジョン」の「パターン2(中位推計)」をベースとした推計値により算出

現行及び改定後の使用料体系

	現行	改定後
基本料金(1月につき) 排出量10mまで含む	1,200円	1,500円
超過料金(排出量1mにつき)		
11~40m		150円
41~50m	120円	160円
51m以上		170円

(消費税別)

■平均改定率 約30%

■標準世帯の改定率 約25%
(標準世帯: 1か月あたり20m排出した場合)

■累進制の導入(使用量に応じて負担割合が増えます)

■計算例(消費税別)

一般家庭で1か月あたりの汚水排出量が20mだった場合

<改定前>基本料金1,200円

+ (超過料金120円×10m)=2,400円

<改定後>基本料金1,500円

+ (超過料金150円×10m)=3,000円⇒差額は600円

町には2つの下水処理場
どうして使用料を
改定するの?

現在、使用料のままの場合、維持管理費の5割強しか賄えず、残りの4割以上を一般会計(税金)からの繰入で賄わなければなりません。それでは本来、一般会計で賄うべき事業に支障をきたすことになってしまいます。このようことから、

平成8年以来、使用料は据え置きとなっており、経費削減に努めてまいりましたが、以上のようなことから、このたび左のとおり改定することになりましたので、ご理解をお願いします。

①生活環境が改善し川や海がきれいになります

汚水が川などに流れ出すと、悪臭の原因となり、ハエや蚊が発生して魚も住めません。汚水を下水道に集めることで、川も町も美しく快適な環境になります。

②清潔な水洗トイレが使えます

水洗トイレが使えるようになり、し尿は下水道を通じて処理場できれいな水となり、川や海に戻されます。

③生活環境が改善し川や海がきれいになります

汚水が川などに流れ出すと、悪臭の原因となり、ハエや蚊が発生して魚も住めません。汚水を下水道に集めることで、川も町も美しく快適な環境になります。

④生活環境が改善し川や海がきれいになります

汚水が川などに流れ出すと、悪臭の原因となり、ハエや蚊が発生して魚も住めません。汚水を下水道に集めることで、川も町も美しく快適な環境になります。

⑤生活環境が改善し川や海がきれいになります

汚水が川などに流れ出すと、悪臭の原因となり、ハエや蚊が発生して魚も住めません。汚水を下水道に集めることで、川も町も美しく快適な環境になります。

⑥生活環境が改善し川や海がきれいになります

汚水が川などに流れ出すと、悪臭の原因となり、ハエや蚊が発生して魚も住めません。汚水を下水道に集めることで、川も町も美しく快適な環境になります。

⑦生活環境が改善し川や海がきれいになります

汚水が川などに流れ出すと、悪臭の原因となり、ハエや蚊が発生して魚も住めません。汚水を下水道に集めることで、川も町も美しく快適な環境になります。

⑧生活環境が改善し川や海がきれいになります

汚水が川などに流れ出すと、悪臭の原因となり、ハエや蚊が発生して魚も住めません。汚水を下水道に集めることで、川も町も美しく快適な環境になります。

⑨生活環境が改善し川や海がきれいになります

汚水が川などに流れ出すと、悪臭の原因となり、ハエや蚊が発生して魚も住めません。汚水を下水道に集めることで、川も町も美しく快適な環境になります。

⑩生活環境が改善し川や海がきれいになります

汚水が川などに流れ出すと、悪臭の原因となり、ハエや蚊が発生して魚も住めません。汚水を下水道に集めることで、川も町も美しく快適な環境になります。

⑪生活環境が改善し川や海がきれいになります

汚水が川などに流れ出すと、悪臭の原因となり、ハエや蚊が発生して魚も住めません。汚水を下水道に集めることで、川も町も美しく快適な環境になります。

⑫生活環境が改善し川や海がきれいになります

汚水が川などに流れ出すと、悪臭の原因となり、ハエや蚊が発生して魚も住めません。汚水を下水道に集めることで、川も町も美しく快適な環境になります。

⑬生活環境が改善し川や海がきれいになります

汚水が川などに流れ出すと、悪臭の原因となり、ハエや蚊が発生して魚も住めません。汚水を下水道に集めることで、川も町も美しく快適な環境になります。

⑭生活環境が改善し川や海がきれいになります

汚水が川などに流れ出すと、悪臭の原因となり、ハエや蚊が発生して魚も住めません。汚水を下水道に集めることで、川も町も美しく快適な環境になります。

⑮生活環境が改善し川や海がきれいになります

汚水が川などに流れ出すと、悪臭の原因となり、ハエや蚊が発生して魚も住めません。汚水を下水道に集めることで、川も町も美しく快適な環境になります。

⑯生活環境が改善し川や海がきれいになります

汚水が川などに流れ出すと、悪臭の原因となり、ハエや蚊が発生して魚も住めません。汚水を下水道に集めることで、川も町も美しく快適な環境になります。

⑰生活環境が改善し川や海がきれいになります

汚水が川などに流れ出すと、悪臭の原因となり、ハエや蚊が発生して魚も住めません。汚水を下水道に集めることで、川も町も美しく快適な環境になります。

⑱生活環境が改善し川や海がきれいになります

汚水が川などに流れ出すと、悪臭の原因となり、ハエや蚊が発生して魚も住めません。汚水を下水道に集めることで、川も町も美しく快適な環境になります。

⑲生活環境が改善し川や海がきれいになります

汚水が川などに流れ出すと、悪臭の原因となり、ハエや蚊が発生して魚も住めません。汚水を下水道に集めることで、川も町も美しく快適な環境になります。

⑳生活環境が改善し川や海がきれいになります

汚水が川などに流れ出すと、悪臭の原因となり、ハエや蚊が発生して魚も住めません。汚水を下水道に集めることで、川も町も美しく快適な環境になります。

㉑生活環境が改善し川や海がきれいになります

汚水が川などに流れ出すと、悪臭の原因となり、ハエや蚊が発生して魚も住めません。汚水を下水道に集めることで、川も町も美しく快適な環境になります。

㉒生活環境が改善し川や海がきれいになります

汚水が川などに流れ出すと、悪臭の原因となり、ハエや蚊が発生して魚も住めません。汚水を下水道に集めることで、川も町も美しく快適な環境になります。

㉓生活環境が改善し川や海がきれいになります

汚水が川などに流れ出すと、悪臭の原因となり、ハエや蚊が発生して魚も住めません。汚水を下水道に集めることで、川も町も美しく快適な環境になります。

㉔生活環境が改善し川や海がきれいになります

汚水が川などに流れ出すと、悪臭の原因となり、ハエや蚊が発生して魚も住めません。汚水を下水道に集めることで、川も町も美しく快適な環境になります。

㉕生活環境が改善し川や海がきれいになります

汚水が川などに流れ出すと、悪臭の原因となり、ハエや蚊が発生して魚も住めません。汚水を下水道に集めることで、川も町も美しく快適な環境になります。

5月から義援金を配分

1月16日に開催した「平成30年度檜葉町義援金配分委員会」において、日本赤十字社や福島県などに寄せられた義援金の第二次追加配分(7回目)の支給額が決定しました。これに伴い、今年5月から順次、義援金の振込を行う予定です。

受付事務の簡素化・迅速化を図り、今回は前回(平成27年)の振込口座(変更・分割の申出があった場合を除く)に振込みますのでご承知おください。

□対象者

平成23年3月11日時点、檜葉町に住んでいた方。ただし、震災に起因する死亡・行方不明・災害関連死に認定され義援金の対象となった方は、今回の支給対象外となります。

□配分額

一人当たり 25,000円

□口座の変更等

口座の変更・分割(1世帯につき2口座まで)を希望される場合は、「口座変更申請書」を送付しますのでご連絡ください。なお、この申請ができるのは世帯主または前回の振込先口座の名義人に限ります。4月30日(火)までに申請をお願いします。

※口座の変更・分割を希望された場合、通常より振込時期が遅くなる場合があります。ご了承ください。

●お問い合わせ先／

くらし安全対策課 被災情報管理係 ☎0240-23-6109

みんなの掲示版

アジサイ植栽の参加者募集!

北田行政区では町の彩りと環境美化を図るため、町道中満・天神岬線沿い(国道6号〜関電工モータープール間)にアジサイを植栽します。

梅雨の時期、色鮮やかなアジサイを咲かせるために、いっしょに植栽してくださる方を町内から募集しますので、ご連絡をお願いします。

どなたでも大歓迎です。いっしょに町をきれいにしましょう。

●日時: 3月9日(土)9:00〜

●集合場所: あおぞらこども園東側駐車場

●植栽本数: 約70本

●連絡先／

北田行政区副区長 山内康一(携帯) 090-7931-6170

※スコップ、軍手、タオルを持参し、作業しやすい服装をお願いします。

仮設住宅等対策室、3月終了

特定延長世帯の相談業務などを行ってきた仮設住宅等対策室(高久第8応急仮設住宅集会所内)は、業務の終了に伴い3月いっぱい終了します。

●お問い合わせ先／

仮設住宅等対策室 ☎0246-88-1234

個別就職相談会

就職活動に対する漠然とした不安の相談や、履歴書、職務経歴書の書き方など、お気軽にご相談ください。ご利用は無料です。

雇用保険受給者で証明書が必要な方には、利用証明書を発行します。

●日時: 2月15日(金)13:00〜15:00

●場所: みんなの交流館「ならはCANvas」

●お問い合わせ先／

ふくしま生活・就職応援センター富岡事務所 ☎0240-23-7880

ふくしま大卒等就職ガイダンス

—学生、既卒者の皆さんへ—

来年3月に大学等を卒業予定の方、平成29年3月以降に大学等を卒業(修了)された方を対象に、福島県内に就業場所があり、参加対象学生等を正社員として採用する計画のある事業所の企業説明会を開催します。ぜひご参加ください。

①事前申込不要、お気軽にお越しください。

②参加事業所は開催1週間前までに、福島労働局ホームページ上で公開します。

③事業所ブースにおける人事担当者等が事業概要等の会社説明や、ハローワーク等各機関による職業相談・情報提供等を行います。

□日時等 3月8日(金)

●事業所PRタイム…10時15分〜11時40分

●各種就職支援イベント…10時〜11時40分

●合同企業説明会 ……13時〜16時

□会場

ビッグパレットふくしま(郡山市南二丁目52番地)

□主催

厚生労働省福島労働局(新卒応援ハローワーク、ハローワーク)、福島県

●お問い合わせ先／

福島労働局職業安定課 ☎024-529-5396

消防署からのお知らせ

火災予防を心がけましょう

この季節は空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節です。火災予防を徹底しましょう!

■火災予防の3つのポイント

①住宅用火災警報器を設置する。

②テーブルタップのたこ足配線や電源コードが家具などの下敷きになっていないか確認する。

③寝たばこは絶対にしない。

④火災発生時の対応

⑤火災発生時の対応

⑥火災発生時の対応

⑦火災発生時の対応

⑧火災発生時の対応

⑨火災発生時の対応

⑩火災発生時の対応

⑪火災発生時の対応

⑫火災発生時の対応

⑬火災発生時の対応

⑭火災発生時の対応

⑮火災発生時の対応

⑯火災発生時の対応

⑰火災発生時の対応

⑱火災発生時の対応

⑲火災発生時の対応

⑳火災発生時の対応

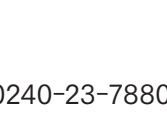
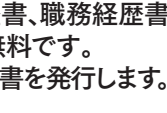
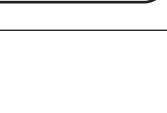
㉑火災発生時の対応

㉒火災発生時の対応

㉓火災発生時の対応

㉔火災発生時の対応

㉕火災発生時の対応



ならはカレンダー(平成31年2月) FEBRUARY.2019

日	月	火	水	木	金	土
3 節分 	4 立春 ㊦ノルディック教室 (榎葉・いわき) 10:00～ ペット・ブラ 	5 広報ならは 2月号発行 可燃 	6 ㊦合気道教室 (武道館) 18:00～20:00	7 ㊦太極拳教室 (まなび館体育館) 13:30～15:00 ピン 	8 可燃 	9
10 お笑いライブ (コミセン) 14:00～ U字工事 他 	11 建国記念の日 ペット・ブラ 	12 心配ごと相談 (保健福祉会館) 13:00～16:00 ㊦ソフトバレーボール教室 (まなび館体育館) 19:00～20:30 可燃 	13 元気アップ教室 (サロンふらっと) 13:30～15:00 ㊦合気道教室 (武道館) 18:00～20:00	14 タブレット講習会・相談会 (交流館) 9:30～11:30 13:30～15:30	15 ㊦いいやんベイクササイズ (まなび館体育館) 10:00～11:30 可燃 	16
17	18 ㊦ノルディック教室 (榎葉・いわき) 10:00～ 住民税の申告・ 所得税の申告相談 (コミセン) 9:00～16:00 ペット・ブラ 	19 タブレット講習会・相談会 (第8応急仮設談話室) 10:00～12:00 13:30～15:30 ㊦フラーアレンジメント教室 (まなび館) 10:00～ 可燃 	20 元気アップ教室 (サロンふらっと) 13:30～15:00 ㊦合気道教室 (武道館) 18:00～20:00	21 もろもろ塾:木工細工 (サロンふらっと) 10:00～14:00 要予約 ㊦太極拳教室 (まなび館体育館) 13:30～15:00	22 ㊦いいやんベイクササイズ (まなび館体育館) 10:00～11:30 可燃 	23
24	25 子ども議会 (議場) 13:20～ ㊦ノルディック教室 (榎葉・いわき) 10:00～ 住民税の申告・所得税の申告相談 ペット・ブラ 	26 しおかぜ荘 フロの日 ㊦ソフトバレーボール教室 (まなび館体育館) 19:00～20:30 可燃 	27 ㊦合気道教室 (武道館) 18:00～20:00	28 ウォーキング教室 「滝富士」 (いわき市連野町)	3月1	2
3 	4 ㊦ノルディック教室 (榎葉・いわき) 10:00～ 住民税の申告・所得税の申告相談 ペット・ブラ 	5 広報ならは 3月号発行 可燃 	6 元気アップ教室 (サロンふらっと) 13:30～15:00 ㊦合気道教室 (武道館) 18:00～20:00	7 ㊦太極拳教室 (まなび館体育館) 13:30～15:00 ピン 	8 ㊦いいやんベイクササイズ (まなび館体育館) 10:00～11:30 可燃 	9

㊦:ならはスポーツクラブ事業

医療機関
情 報

◆ 県立ふたば復興診療所(ふたばリカーレ)
☎0240-23-6500

診療科目	月	火	水	木	金
内 科	○	○	○	○	○
整形外科	○		午後のみ	○	

◆ ときクリニック
☎0240-25-1222

診療科目	月	火	水	木	金
内科・小児科		○	○	○	○

※来院時送迎あり

◆ 県立ふたば医療センター附属病院
☎0240-23-5090 救急のみ 24時間365日

◆ 蒲生歯科医院
☎0240-25-2061 歯科(月～金)

今月の健康増進事業

	日にち	時 間	内 容	場 所
もろもろ塾	2/21 (木)	10:00～14:00	木工細工	あおぞらこども園内 サロン「ふらっと」
	もろもろ塾は申込みが必要です。☎0240-25-4157までお電話ください。			
合気道	毎週水曜日	18:00～20:00	合気道	武道館
元気アップ 教室	2/13 (水)	13:30～15:00	Jヴィレッジフィット ネスジムのトレーナー が運動やストレッチ等 を支援します。	あおぞらこども園内 サロン「ふらっと」
	2/20 (水)			
	3/6 (水)			

3月10日・11日 Jヴィレッジで
311追悼イベント

～SONG OF THE EARTH FUKUSHIMA311～

東日本大震災追悼復興祈念イベントを、今年はJ ヴィ
レッジで開催します。

アーティストライブや飲食ブースの出展、キャンドル
ナイトなどの催しが行われますので、どうぞ参加くだ
さい。詳細は3月号でお知らせします。

◇日 時 3月10日(日) 11:00～20:00
11日(月) 12:00～20:00
◇場 所 J ヴィレッジ
◇参加費 無料(申込不要)

「相双地方振興局」で



●お問い合わせ先/
福島県相双地方振興局復興支援・地域連携室
☎0244-26-1115

インフルエンザにご注意！

インフルエンザの感染経路は「飛沫感染」と「接触感
染」です。

「飛沫感染」とは、感染した人の咳やくしゃみのしぶ
きに含まれるウイルスを吸い込むことによる感染で
す。「接触感染」とは、ウイルスが付着した手で口や鼻に
触ることにより、間接的にウイルスに接することによ
る感染です。

日頃から手洗いを励行し、マスクをするなど予防を
心がけましょう！

住民税の申告・所得税の申告相談

平成31年度町県民税の申告及び所得税の申告相談
を次のとおり行います。

■期間/2月18日(月)～3月15日(金)

■場所/町コミュニティセンター 大会議室

□受付時間/9:00～16:00
※3月11日(月)～14日(木)は19:00まで
※3月15日(金)は正午まで
□期間中の土日、祝日は行いません。

※上記期間を過ぎますと、町で所得税の申告相談を
受けることができなくなり、税務署受付となりますの
で、ご注意ください。

●お問い合わせ先/税務課 ☎0240-23-6101

2月の納税等

■国民健康保険税(8期)

納期限:2月28日(木)

■後期高齢者医療保険料(7期)

忘れずに納めましょう。

また、口座振替の方は2月28日(木)に引落としとなりま
すので、残高の確認をお願いします。

●お問い合わせ先/税 務 課 ☎0240-23-6101
住民福祉課 ☎0240-23-6102

おめでとうございます

氏 名	保護者名	行政区
すずき 鈴木 うた	貴信・聡美	上井出
きしもと 岸本 昂大	和人・奈津美	女 平
まつもと 松本 はやて 颯	諭・マリ	山田岡
にしおきょうたろう 西尾京汰郎	優作・梨那	北 田

(敬称略)

(広報ならは1月号掲載以降にお生まれになられた方)

お悔やみ申し上げます

氏 名	年齢	行政区	氏 名	年齢	行政区
酒井 廣	69	旭ヶ丘	原林志保子	84	上井出
上野 利子	89	上小塙	橋本千鶴子	96	北 田
山内 マツ	95	北 田	菅波 里子	88	繁 岡
會澤 留吉	81	営 団	松本 勝美	94	下小塙
渡邊 正信	82	上井出			(敬称略)

(広報ならは1月号掲載以降亡くなられた方)

子ども議会を 傍聴しませんか？

檜葉南、北小学校の6年生が子ども議員として、
町政に鋭く切り込みます。
ふだんの生活の中から気づいた率直な意見を、
堂々と述べてくれるはずです。
子ども議員の活躍ぶりをぜひ議場で応援してください。

日時 2月25日(月) 13:20～

●檜葉町議場(役場3階) ※エレベーターをご利用ください。



町長

MAYOR'S COLUMN



Vol.15

その土台

役場の仕事は、いろいろな角度から、住民の生活に寄与し、住民の皆さんに住みやすい環境(まち)で生活していただくことです。その目的はすべて、住民の皆さんの幸福にあるわけですが、なんと言っても住民の健康を守ることが最も大切なベースになると思います。

私たちは、たとえお金があっても、健康でなければお金の使い道も限られてしまいますし、何より、病を得た本人はもとより、ご家族も毎日をつらく苦しい気持ちで過ごさなければならなくなってしまうのです。

1月27日、地域包括ケアシステムの構築を推進するためのシンポジウムを開催しました。ひとことで言えば、「なるべく長く健康で過ごし、人生の最期を住み慣れた地域の中で迎えるためにどうしたらいいのか、みんなで考えよう」というものです。

シンポジウムでは、参加者ご自身の体験に基づいた意見などが話され、私も改めて健康や人とのつながりの大切さを認識する機会になりました。

健康で一人一人が生きがいをもって暮らすことのできるまち。みんなできつくりあげていきたいと思っています。すべての土台は健康にありますね。



檜葉町役場 連絡先一覧

檜葉町役場本庁舎

- 総務課 ●税務課 ●住民福祉課 ●復興推進課
- 政策広報室 ●産業振興課(農業委員会含む)
- 新産業創造室 ●建設課 ●くらし安全対策課
- 出納室 ●議会事務局

〒979-0696 双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂5-6
TEL 0240-25-2111 FAX 0240-25-5564
☎0120-562-171(フリーダイヤル)
E-mail: naraha@town.naraha.lg.jp
【土日祝日は日直対応 8:30～17:15】

檜葉まなび館

(旧檜葉南小)

- 教育総務課(体育協会含む)
- ならはスポーツクラブ

〒979-0514 双葉郡檜葉町大字下小塙字麦入31
TEL 0240-23-6190
FAX 0240-23-6192

【3月で終了します】

仮設住宅等対策室

高久第8応急仮設住宅内

土日祝日の日直業務はありません

〒970-8042 いわき市平上高久字大日作1
TEL 0246-88-1234
FAX 0246-88-1244

あおぞらこども園

- 子育て支援センター

〒979-0604 双葉郡檜葉町大字北田字中満296-1
TEL 0240-26-0808
FAX 0240-25-1145



檜葉町公式ブログ
ところ、つなぐ、ならは

<http://ameblo.jp/naraha7700/>



檜葉町
公式 Facebook

<https://www.facebook.com/kokoro.tsunagu.naraha>